

## 富山シティエフエム

### 令和8年度第1回～4回番組審議会（合同開催）

#### 1. 開催日時

令和8年9月17日（木）午後3時～

#### 2. 開催場所

富山市安住町2-14 北日本新聞社5階会議室

#### 3. 出席委員

委員総数6人

出席委員5人

出席委員の氏名（◎委員長、○副委員長）

◎武田 昭文（富山大学教授）

○大井 秀樹（富山商工会議所中小企業相談所長）

前坪 勝児（富山市企画管理部広報課長）

倉川 有馬（富山青年会議所監事）

澤 聡美（富山大学准教授）

放送事業者側出席者

中田 洋志（富山シティエフエム常務取締役）

小原 源（同 放送部長）

川田知恵美（同 スタッフ）

#### 4. 議題

##### ①SouthVoiceRadio～14歳の挑戦

放送：2026年8月11日（火・祝）9時00分～9時30分ほか 30分録音番組

##### 【番組内容】

7月に「社会に学ぶ14歳の挑戦」で局を訪れた富山市立南部中学校2年生の4人が制作。14歳の挑戦の活動を振り返りながら、日ごろの学校生活のことなどを、自分たちの好きな曲を交えながら紹介した。

##### 【委員の意見】

中学生にとって良い経験に良い思い出になったのではないかな。BGM効果で番組らしく仕上がっている。30分は長いかもしれない。チャレンジすることが番組という形

で公開されるのは良かった。素人っぽさが逆に魅力に感じた。緊張からか聞き取りにくい部分があった。「ラジオ」の未来について中学生に考えさせる質問が面白かった。

## ②開局 29 周年記念特別番組「ツナグ☆ラジオ」

放送：2026 年 7 月 19 日（日）11 時 00 分～16 時 00 分 生放送

### 【番組内容】

富山市中央通りにあるカフェ&レンタルスペース「Tsunag.」から公開生放送。「人と人、人と街をつなぐ」をコンセプトに実施する 3 年目の企画。今年は「29（ツク）る」の語呂合わせで、様々な「つくる」を実践。提出部分は局の備品の椅子を張り替える作業の様子。トトン by 米三、キモノヨロズや迦穂亭(かのんてい)の協力で作業を進めた。翌 7 月 20 日に会場で行ったパフォーマンスデー公開録音の様子と合わせて、お盆期間に編集して再放送した。

### 【委員の意見】

椅子のリペアの音、会場で放送していることが伝わる周りの音など、臨場感があって良かった。中心商店街にある店舗を舞台に、地元密着型ラジオの本領発揮の感があった。BGM が自然な感じだった。「つくる＝サスティナブル」の未来へつながる感じの要素が盛り込まれていたのが良かった。29 周年＝「つく（29）る」の語呂合わせが、言葉遊びを得意とするラジオならではの感じがした。作り上げたものの写真や映像を SNS 等で発信して連動させるのもあり。

## ③堤健吾の語るぜ！カターレ

放送：2026 年 7 月 31 日（金）15 時 00 分～16 時 00 分ほか 1 時間録音番組

### 【番組内容】

元カターレ富山 DF でサッカー解説者として活動する堤健吾さんをパーソナリティに、サッカー関係者をゲストに招きトークする月 1 回の番組。番組は最終金曜と翌土曜日午前 9 時から放送しているほか、放送後に YouTube チャンネルでも配信。冒頭ナビゲーターの声はアプリで作成。

提出回は元カターレ富山 FW の木本敬介さんをゲストに迎えた回。2 人は九州出身で高校の先輩後輩の間柄。高校時代の話から、カターレでの選手時代、現在は指導者として活動している思いなどを聞いた。

### 【委員の意見】

ゲストの人となりが深く掘り下げられており、ラジオらしい番組だった。どんどん話に引き込んでいく構成も良かった。サッカーに関わる人にはぜひ聞いて欲しい。逆にサッカーをあまり知らない人にどのようにアピールするか、わかりやすくする

かも検討してみてもは。ファンにとって楽しめる番組だし、地域スポーツを盛り上げるものだった。ゲストのサッカー教室情報など、押さえる部分があっても良かった。

#### ④富山のあした、働き方会議

放送：2026年7月25日（土）11時00分～11時30分ほか 30分録音番組

##### 【番組内容】

働き方改革推進支援センター富山の社労士（社会保険労務士）が、多様で柔軟な働き方を選択できる社会を目指す「働き方改革」について、具体的な事例や取り組みなどを紹介している。提出回は「女性の働き方」をテーマに、センターの副センター長でもある山内恵子さんが出演した模様。

##### 【委員の意見】

ある意味、堅い内容と構成で、聞きやすくわかりやすいと思った。「短時間正社員」や女性の働き方なども、聞き役が自分事として話せていたのが共感できた。タイムリーな事項で聞く人の為になる要素が多かった。リスナーから項目のリクエストなどを受け付けると広がるのではないかな。

以上